



皆さん、こんにちは。和田伸也です。

7月のリヨン世界選手権では、最終日のマラソンで銀メダルという最高の結果を出すことができました!!
日本からたくさんご声援いただき大変感謝いたします。ありがとうございました。

大会初日の5,000mで失敗レースをしてしまい、1500mでは途中棄権と、これまでの世界大会とは異なり
大変厳しい遠征となりました。しかし、そんなプレッシャーのかかる中、マラソンで絶対結果を出すんだ、
メダルを取って日本へ帰るんだと心を強くもって、最後の一発に集中して挑みました。

前半伴走の行場さん、後半伴走の中田さん、現地でサポートいただきました志田さんとともに、
皆様からのご声援のおかげで悪い流れを断ち切り、最後に好結果を残すことができました。
まだまだこれからも世界と勝負し続けて、自分の限界に挑戦し続けていきたいと思っています。

次回の世界選手権は、2015年1月のドーハ大会となります。
また気合い入れてがんばっていききたいと思います。

最後になりましたが、今回の世界選手権出場に際しまして、
後援会のカンパ活動にもご協力いただきまして、大変ありがとうございました。
世界選手権はパラリンピックと異なり、基本的には自己負担で遠征しないといけません。
皆様からのご協力のおかげで今回もまた無事に遠征費を支払うことができました。

何と感謝の言葉を言ってよいか、いくら言っても言い足りません。
本来でしたら、おひとりおひとりにお礼のご挨拶をと思っはいますが、
まだ直接お会いできていない皆様もたくさんいらっしゃいますので、
この場をおかりしまして御礼申し上げます。このご恩は決して忘れません。

本当にありがとうございました。

和田 伸也

わだっち
銀メダル
おめでとう!!

和田選手、IPC世界陸上選手権大会で銀メダル獲得。

2013年7月28日、またひとつ新たな歴史が刻まれました。同日開催されたIPC世界
陸上選手権リヨン大会男子マラソン(T11/全盲の部)に出場した我が和田選手
が、2時間45分34秒で銀メダルを獲得しました。

猛暑のためスタートが1時間繰り上がるというハプニングで始まったレースはス
ローペースで周回を重ね、最終周にはトップに立つ場面もあり、最大のライバルで
あるチリのバレンズエラ選手との一騎打ちの末、見事2位でゴールしました。前回
のニュージーランド大会(2011年)での銅メダルに続き、世界選手権のマラソン
で2つ目のメダル獲得、昨年のロンドンパラリンピックでの銅メダルを加えると、
世界大会で3度目の表彰台でした。

同じJBMA派遣選手の谷口真大選手は2時間48分39秒の自己新記録で5位
に入賞。高橋勇市選手は途中棄権でした。

和田選手のリヨン大会の結果報告

7月21日	男子5,000m 決勝 (T11)	4位	タイム 16分20秒91
7月25日	男子1,500m 予選 (T11)	途中棄権	
7月28日	男子マラソン(T11)	2位	タイム 2時間45分34秒



大阪ミントJC 会長 吉田 みっちゃん

和田くん、リヨンでのマラソン銀メダル獲得、おめでとうございます。海外遠征のたびに光るものをきっちり持ち帰る安定した力には敬服します。それも下から一段ずつ上がってきて、もう次は頂点が見えてきたようですね。この最後のもう一段がとてつもなく高い段差なのかもしれませんが、周到な準備と努力さえすればきっと到達できることでしょう。われわれミントのメンバーも、走力は不足ながら、それ以外のさまざまな側面からできることで支えていきたいと思います。これから仁川(インチョン)、ドーハ、リオと毎年祝勝会を準備して待ってます。

祝！ 銀メダル

京田辺走ろう会 富永正治

和田伸也さん、リヨンでのフルマラソン銀メダル本当におめでとうございます。長居での木曜練習会で時々一緒にさせてもらいますが、いつも明るく、世界的ランナーなのに腰が低くて少しも気負ったところがありません。それに礼儀正しくて一緒に練習する仲間に感謝の言葉を忘れません。期待されてちゃんと結果を出し、常に周りに感動と勇気を与えてくれるわだっち。次のリオパラリンピックでの上位入賞を目指して頑張ってください。



ゴール後、伴走の行場さん、中田さんとともに。

長居わーわーず 林 かよみ (通称はなてんちゃん)

わだっち、世界選手権での銀メダルおめでとうございます。一番得意とするフルマラソンでのメダル獲得は、わだっちにとって格別の喜びではないでしょうか。わだっちが私たちの視覚障がい者マラソン練習会「長居わーわーず」に参加された時期はあまり覚えていないのですが、ある日の練習会に久々に参加されたとき、ガイドの方が「お～、わだっち。よう走ってる足になってきたなあ!」と言っておられたことを覚えています。いつ? どこで? 誰と?(笑) そのときは、もう世界を意識して練習に励んでいたのでしょうか。

私たち視覚障がい者ランナーはちょっと時間が空いたからその辺を走ろうとか、朝早く目が覚めたからジョグでもしようという訳にはいきません。だから一緒に走ってくださるガイドの方の確保が大変なんです。わだっちはそのチャンスが無駄にすることなく、集中して練習を積み重ねてこられたからこそ今回の世界選手権でメダルをものにできたのでしょう。

これまでもパラリンピックや世界選手権で優勝された日本人の視覚障がい者ランナーはいらしたのですが、みなさん関東の方々なので応援はしていても、あまり関心は持っていませんでした。

わだっちは長居わーわーずの仲間として、とっても身近な存在でもあり、目標にすべきランナーです。

次は、リオデジャネイロでのパラリンピックで一番上の金メダルに挑戦して欲しいし、長居わーわーずの仲間として応援していきたいです。

お世話になってくるランニングクラブからお祝いのメッセージをいただきました。

賀茂川パートナーズ 会長 斉藤 浩史

皆さん、お世話になっております、賀茂川パートナーズの会長のトータスと申します。

今大会、応援隊からのメッセージを受けたり、結果を聞いたりする度に、「どないなるんやろ?」とヒヤヒヤ! マラソンについては、何人かを自宅に招いてパブリックビューイングを、と思ってたのに、ユーチューブでのライブ配信がされずにヤキモキ! 結局、応援隊による携帯での実況を固唾を飲みながら受け取り、パートナーズのMLに投稿するというような、原始的な方法で、日本のレース展開を聞き守ってありました。で、受話器越しの吉報に、一瞬言葉が出なかったのは言うまでもないことで、瞬間、狭いビューイング会場は蜂の巣をついたような大騒ぎに! 直後に届いたしぶっちからのメールには、ほんまに涙が出ました。

ね～、皆さん、ほんまにひやひやさせやがって!

世界に名前が認知された中での銀メダル、計り知れない価値があったと思います。そのコンディショニングの方法なんかを、後輩の競技者に伝授していつくれたらと思うのと、自身の競技力の向上も、まだまだこれから! 昨日の好敵手を、今日の友に出来たような大きな収穫もあったようやし、そいつに勝つために、またしっかり身体をいじめて行ってください。

でも、賀茂川の土手に並んで座って、他愛ない話をしながら、餃子を食べた頃の和田ちゃんも忘れずにいてくれたら、これまた幸いです。

とにかく、ほんまにおめでとう! おつかれさんやったな!

和田選手の応援ならどこまでも！ 会長+事務局のおっかけリヨン応援記

和田伸也さんを応援する会 会長 森 昌子 事務局 齊藤貴久子



美しい町並みと人情と和田選手の成長を感じた旅 森 昌子



「和田伸也さんを応援する会の会長さんなんやけん、応援に行かんといかんわい。」(ゆるキャラのバリィさん談(?))と、家族にもお許しをもらい、遠くフランスまで応援に行くことになりました。

しかしパリについての情報は山ほどあっても、リヨンについての情報は皆無。前途多難。でも実際に行ってみてわかったことは、強く思いを持ち、行動すれば道は開ける。相手もわかるろうと努力してくれるということでした。それは世界共通。道に迷い地図をみていた時、声をかけてくださったご夫婦、メトロの乗り換えをどうすればいいのか路線図を確認していたら、案内してくれた高校生のかわいいカップル等等。多くの優しい人達に助けられました。

リヨンはソーヌ川とローヌ川という二つの川が流れ、レンガ色の屋根が美しい街並みの古い歴史のあるかわいらしい街でした。丘の上に立派な教会があり、教会の屋根の上の黄金のマリア様が街全体を見守ってくれていました。石畳のレストラン街もとてもいい雰囲気です。食べ物も飲み物もとても美味しかったです。しかし、今年は特別なのかどうか分かりませんが猛烈に暑かったことが印象に残っています。そして日が長く、夜は10時前にならないと暗くなりませんでした。

和田選手は、1,500m、5,000m、マラソンに出場でしたが、5,000mは4位、1,500mは予選敗退と本意な結果に終わり、最終種目のマラソンに臨んでいました。マラソン当日、応援地点を下見し、スタートを今か今かと待ちました。しかしながら、時間になっても一向にスタートの気配はありませんでした。結局スタートは予定より3分遅れ。コースも距離表示は一切なく、規制もされていないので、競技が開始されてもコース上を一般のランナーが走ったり、応援の人が横切ったりと、いかげんというか、自由というか、本当に世界選手権?と思うくらいのもろもろな様子でした。周回コースなので何度も応援することができ、間近に選手を見て声をかけることができたのは嬉しかったです。また他の国の応援団とも友好を深めることができました。



レースはスローペースで進み、後半になって和田選手がトップに立ち、他の選手を引き離し、最後はチリの選手との一騎打ちという展開でした。粘ったけれど最後はチリのバレンズエラ選手が1位でゴール、続いて待ち構えている私たちの前をガッツポーズの和田選手が笑顔でゴールしました。最後まで全力で戦った二人が、レース後に互いの健闘をたたえあっていた姿が本当に爽やかでした。

メダルは簡単には手に入らない。本当に重い。世界のレベルで戦う人達は、皆それぞれ伴走してくれる人はもちろん、一緒に練習してくれる人、応援してくれる人、家族、大勢の人達に支えられ、期待され、プレッシャーとも戦う人達なんだと身近にいて思いました。そして、ハプニングや環境の違い、プレッシャーすら乗り越え、むしろそれを楽しめる人だけが、メダルを手にする



ことができるんだと思いました。

今回のリヨンで様々な経験をし、今までよりいっそう強くなった和田選手は今後もますます活躍してくれることと思います。そんな人が身近にいてくれる、そして応援することができる私達も本当に幸せだなと思います。

我が和田選手、次はどこに連れてってくれるのかな?

重圧を打ち破ってのゴールに涙、涙 齊藤 貴久子

今回は昨年のロンドンパラリンピックに引き続き、リヨン世界選手権の現地応援に後援会の森会長とともに行って参りました。

今回の大会は、和田選手にとってはいい経験になった大会だったと思います。ロンドンのメダリストとしてマークされる中で、世界のトップレベルの選手達とどう戦うかという、たいへん厳しい環境に置かれた中での戦いをこの目で見てきました。

後援会長とともにリヨンに到着したのは、1,500m予選が終わった24日の夜でした。5,000mと1,500mを不発で終えてしまった和田選手はどことなく元気がなく、メダリストとして追われる立場の難しさを噛み締めているようでした。また、不発では終われない、なんとかメダルを日本に持ち帰らなければというかなりのプレッシャーとも戦っていました。いつの時も「ニヤハハハハ」と笑っている和田選手にもこんな時があるのかと思うほどで、トップアスリートにかかる重圧がひしひしと伝わってきました。

私達もなんと声をかけたいかわからない中で、いつもの和田選手でいられるよう、日本と同じような雰囲気作りに努めました。でも、私にはトップアスリートの妻は動きませんね。(笑)(うちのトータスくんがトップアスリートになる心配もありませんが。)どんな時もしっかり、そしてそっとサポートできる美企子夫人の強さを感じました。

そしてマラソンレース前日。何かふっきれたようないつもの和田選手に戻っていて、「これで勝てる」と確信しました。

いよいよマラソン当日を迎え、ジャパン応援隊らしく浴衣姿に着替えていざ出陣。暑さの影響でスタートの時間が1時間繰り上がり、暑い中でのレースが得意の和田選手に不利はないのかなど心配しても仕方ないことを心配しながら心臓をバクバクさせて和田選手が来るのを待ちました。スタートも3分遅れのし、距離表示など全くない、コース上も公園内でジョギングの人も走っているなどとてもゆる〜い感じでレースが進みました。



応援隊にはいい位置取りができる周回コースで、落ち着いたレース展開をする和田選手を何度も見る事ができました。しかし、一周来ることに集団の前や後ろに和田選手の位置取りが変わっていて、揺さぶっているのか、はたまたしんどくなって後ろに下がっているのかなどとヒヤヒヤして、応援も胃が痛みました。日本の応援団からは「YouTubeが写らん、どうなっとなねん」と国際電話やらメールやらが飛んできて、それから一周ごとに国際電話で途中経過を中継するはめになりました。

最終周には最大のライバル、チリのバレンズエラ選手との一騎打ちとなり、一時は和田選手が先頭に立つ場面もあり手に汗握る展開。最後はバレンズエラ選手の粘りが勝りましたが、和田選手も素晴らしい笑顔のガッツポーズでの堂々としたゴールでした。もう私達も涙、涙の瞬間でした。

今回の大会は、挑戦者であった昨年とは全く違った大会で和田選手は随分しんどかったと思います。応援してくれる方々が多ければ多いほど、皆さんからの期待も大きく、プレッシャーも大きいものに膨れ上がります。しかし、和田選手には今後も、実力アップはもちろんのこと、これらの重圧を跳ね除けて、かつ運も味方につけられる強い人になっていただきたいです。そして、3つの中の一歩輝いたメダルをもぎ取ってほしいです。そのために、後援会も一丸となってサポートしていけるよう活動を頑張っていきます。

最後になりましたが、今回のリヨン大会に、和田選手への差し入れとして、日本米、ドライフルーツ味噌汁、漬物、炊飯器を後援会から持参いたしましたので、この場を借りてご報告いたします。





右から志田さん、行場さん、和田選手、中田さん

志田 淳(しだじゅん)

●1973年6月16日生 ●東海大学出身 ●NEC所属

●伴走を始めたきっかけ：NECの後輩から「視覚障害の方で相当速いタイムで走るマラソンランナーがいる。伴走できる人がいないので、やってもらえないか?」と頼まれたのがきっかけ。この方が高橋勇市さんで、私が初めて伴走をした方です。実業団を引退して3年ほど経っていましたが、もう一度世界大会に出場してみたいと思っていた時期であり、何か新たな練習方法などを取り入れようとしていたところにこのお話があり、やってみようと思った次第です。現役時代ならやろうとは思わなかったですね。

●和田選手を伴走して思うこと：苦しいときの頑張りが素晴らしいと思います。一途に思いを貫くところがある反面、気持ちの切り替えが上手くできないときがあると思います。これが上手くなればどんな体調・気候でも臨機応変に対応できるようになると思いますので、ここが和田さんの改善ポイントと私は感じています。

●今回の世界選手権を終えての思い：今回は一番での伴走はしませんでした。和田さんをはじめ、他の選手にも最高の結果を出してもらおうと、全力でサポートしました。伴走できなくなったとき、全力でサポートすることに気持ちを切り替えられたのが自分としては良かったと思います。しかし、サポートより自分が走る方が気楽で良いですね。また、和田さんにメダルを取ってもらおうと、次の大会に向け更に上のレベルまで向上してもらおうと、様々な面で気付いたことを積極的に伝えたいつもりです。今後、競技レベルの向上とともに、和田さんが主体となって伴走者を取りまとめ、積極的に指示を出せるようになって頂けたらと思います。(和田さんを伴走する走力が必要ですが)誰が伴走者しても、いつでも最高の結果を出せる選手を目指して欲しいと思います。

和田選手の実力引き出してくれる強力なパートナー リヨンでお世話になった伴走者のご紹介

行場 竹彦(ぎょうば たけひこ)

●1985年5月23日生 ●神奈川県立多摩高校～早稲田大学出身 ●鳩印G&T所属

●伴走を始めたきっかけ：大学の先輩(二見さん)の紹介

●和田選手を伴走して思うこと：昨年、実際にしてみるまでは伴走するということがまったく想像できませんでした。しかし、いざやってみると和田さんが丁寧に教えてくださったおかげでなんとかこなすことができています。刺激を受けることも多く、自分としても世界が広がったように思います。特に昨年のパラリンピックの時期に私はけがをしていたので和田さんの結果を見て感激すると同時に前向きになれました。

●今回の世界選手権を終えての思い：初の海外遠征でしかも皆さんより遅れての現地入りだったので不安もありました。しかし、和田さんや中田さん、志田さんから多くのアドバイスをいただき、前半伴走として和田さんとともに銀メダルを獲得できました。スローの展開で和田さんも他の選手にマークされていたと思いますが、それでも慌てずに力を出し切れたのが良かったですし、さすが和田さんだと思います。最後になりましたが、みなさんの応援が力になりました。ありがとうございます。

中田 崇志(なかた たかし)

●1979年10月23日生 ●東京学芸大学出身 ●関東RC/マラソン走走クラブ所属

●伴走を始めたきっかけ：2004年のアテネパラリンピックを目指していた高橋勇市選手が、「伴走者を探しています」と雑誌ランナーズに投稿した記事を読んだことが、伴走を始めたきっかけです。

●和田選手を伴走して思うこと：2010年に初めて伴走した時に、トラック種目でも活躍できるスピードとパワーを感じました。才能に加えて、怪我の時も調子の悪い時も粘り強く、出来ることを継続する気持ちを持ち併せています。強くなるために真っ直ぐなところが私にも良い影響があり、伴走をしていてとても楽しいです。

●今回の世界選手権を終えての思い：メダルは必ず獲得するという強い気持ちで臨み、銀メダルを持ち帰ることができました。これも多くの方々の支援があり、3名の伴走体制で世界選手権に臨むことができたためです。この充実した伴走体制がメダル獲得を確実に後押ししていました。伴走者は日頃、毎日伴走をしているわけでありません。遠征先で毎日伴走をしていると普段とは違う疲労があり、怪我のリスクも高まります。今回は伴走3名に加えて、美企子さんもトレーニングサポートをしてくださいましたので、良いコンディションで不安なくレースで伴走することができました。ご支援ありがとうございました。

from 事務局

ご報告と お知らせ

【編集後記】

創刊号の発行から3カ月、少し遅れてしまいましたが、無事第2号を送り出すことができました。この夏は気温が40度を越えたところもあると言う、まさに灼熱という言葉がぴったりなくらい暑さでしたが、和田さんのリヨンでの活躍には、40度どころか沸騰寸前くらいまで熱くなりました。願いを込めて創刊号の表紙に書いた「リヨンでもこの笑顔が見たい」に見事応えてくれた和田選手にありがとうございます!!(な)

リヨンに向けての壮行会が開催されました。

さる7月7日、フランス・リヨンの世界陸上選手権大会出場に向けての壮行会が、賀茂川パートナーズの定期練習会終了後に、賀茂川河川敷で開催されました。急な呼びかけにもかかわらず、80名もの方々が激励に駆けつけてくださり、おおいに盛り上がりました。また、後援会費の中から和田さんと谷口さんに激励金を贈呈いたしましたことを併せてご報告いたします。時間の関係で全ての会員の皆様に連絡が行き届かなかったことをお詫びいたします。



わだっち応援Tシャツ。

昨年のロンドン・パラリンピックに引き続き、チーム快速亭の澤田秀樹さんのご協力により「わだっち応援Tシャツ」が作成されました。会員の方をはじめたくさんの方々に、合計397枚もご購入いただき、リヨン遠征のカンパができました。ご購入頂いた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。



全国視覚障害者駅伝大会のお知らせ

来る10月20日、長居競技場周辺で行われる全国視覚障害者駅伝大会に、和田さんがゲストランナーで参加。ロンドン、リヨンで伴走いただいた中田崇志さんがゲストランナー組で和田さんの伴走を、ロンドンで伴走いただいた志田さんも賀茂川パートナーズ組で和田さんの伴走をしていただけることが決定いたしました。世界レベルの走りが見られるまたとないチャンスです。是非観戦に来て、銀メダリストの勇姿を肌で感じてください。

ホームページ開設とfacebookページのお知らせ

wadashinyaドットコム(<http://www.wadashinya.com>)がテスト運用を開始。視覚障害者にもやさしいバリアフリーなホームページです。また、和田さんの母校、生野高校OBの方々が中心となって、facebookで運営されていた会と当会が統合されました。facebookページでは、引き続き和田さんの最新情報をいち早く公開します。facebookの和田伸也さんを応援する会に「いいね!」をよろしくお願いします。

ご協賛ありがとうございます 平成25年6月1日～平成25年9月15日に新たに会員になられた方々およびご寄付いただいた方々です。厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

青木正一、東英樹、井田優一、175ランナーズ、猪岡弘士、猪岡富貴子、岩田徹、上ヶ原勲、大住幸子、奥休場昌洋、小山田みき、桂川走友会、亀田由利子、鴨川走友会、賀茂川パートナーズ、火曜の夜に御所を走る会、木村早苗、京都教育大クラブ、国枝認子、黒崎良一、小高正宏、小高絹子、此枝正二、酒元直美、澤田友加里、吹田かめの子クラブ、須浪淳、千田隆司、ダイハツ京都工場OB、高市皓太、竹上慶男、竹村道信、谷垣繁美、寺尾弘樹、藤賀満子、堂本裕、轟英子、内藤青兒、中島徹、中島寛子、中田君代、泥順彦、西川とし子、畠中重夫、馬場康代、林尚子、深山真由美、藤井康宏、藤田耕平、本郷千鶴子、三木省三、三木章世、美馬伸哉、宮城富子、森幹太、山鹿正泰、山下照夫、山田セツ、山ノ内純子、ロイビッシュット 以上 (50音順・敬省略)